

令和4年度政策執行及び予算編成に関する要望

【新】：新規要望事項

＜総務消防委員会＞

I 個性輝く多様な「ひと」が活躍しています

政策目標 4 認め合い、支え合う人をつなげます

施策 ① 市民自治によるまちづくりを進めます

(1) 地域自治区制度

地域マネージャー制度導入に当たっては、地域の実情を考え市民の理解を深めたうえで、自治振興事務所長や地域協議会との役割や関係性及び連携を明確にし、複雑な制度にならないよう進められたい。

また、地域計画を推進するに当たり、より機動力が増すよう組織の再編を図る必要がある地域については、今までの人員構成に捉われず改編されたい。

(2) 市民参加のまちづくり

中学生議会、若者議会、女性議会、しんしろ創造会議などの更なる連携相乗を図るための仕組み、例えば連絡協議会や意見交換会などを検討されたい。

また、各々が推進する施策については十分に精査をし、事業の成果等の検討をされたい。

新城のまちづくりに関する主だった会議の情報を一元化して発信し、新しいメンバーの参加を促し、世代を超えた多様な市民参加によるまちづくりを一層推進されたい。

施策 ④ グローバル人材育成と多文化共生を進めます

(1) ニューキャッスル・アライアンス交流事業【新】

共同声明で合意されたプログラムの進め方や交流の在り方について、更に進捗するよう見直されたい。

II 快適で潤いある「ちいき」に暮らしています

政策目標 1 居心地の良い暮らしをつくります

施策 ④ 理想的な地域公共交通網をつくります

(1) 市民ニーズに合わせた公共交通

既存路線の検証・見直しを図ると同時に、つくであしがる線（デマンドバス）運行や山吉田ふれあい交通（山吉田自家用有償旅客運送）のように、地域の実情に合わせた地域公共交通の在り方と利用促進についての検討を進められたい。

(2) 高速乗合バス「山の湊号」【新】

令和3年度の検証を踏まえ、令和4年度の継続または廃止を検討されたい。
継続の場合には、令和4年秋に開業予定の愛・地球博記念公園内「ジブリパーク」の活用や貨客混載、物流、災害時の物資輸送などの施策を講じ、その結果を検証した後に、存続を再検討されたい。

政策目標 3 人生100年の安全安心をつくります

施策 ⑤ 防災対策を進めます

(1) 自主防災力の強化

ア 地域防災力の強化のために、まずは過去の災害等を踏まえた危険度の高い地区を選定し、計画的に地域へ入り、防災マップ作りなどを通して住民の意識を高められたい。

また、各家庭における「避難マニュアル」の作成を指導されたい。

イ 子どもは将来にわたり地区防災の大きな力となる。

「学校災害防止対策計画」に基づき、各学校避難訓練等を実施すると共に、地域の実情にあわせ小中学校と自主防災会の連携を踏まえた防災教育及び事業を推進されたい。

また、全国で発生している災害の事例を防災教育に活用されたい。

ウ 他市（多治見市、田原市等）でも採用している防災情報アプリを導入し、障害のある人や外国人へ防災対応情報の提供をされたい。【新】

エ 自主防災会における防災対応として防災専門員への情報提供や指導の工夫をされたい。

オ 防災士を育成するとともに、市と新城市防災士協議会との連携をされたい。

市民への周知を含めて災害時に新城市防災士協議会が効果的に機能するよう役割を明確にされたい。【新】

カ 市政モニターアンケートの調査結果をもとに、お出かけ講座の活用を促進し、各地区及び家庭での備蓄への意識向上と行動変容を図られたい。

また、各種お出かけ講座は、YouTube（ユーチューブ）等の動画配信を活用されたい。

(2) 災害時の情報伝達の強化

ア 大規模災害発生時に必須な連絡手段でありながら、現状有効に機能しない移動系デジタル無線の改善を早急に進められたい。

イ 災害・防災・感染症等の情報発信について、他自治体を参考にし、迅速かつ詳細な情報提供に努めるとともに、市民の不安を解消するように努められたい。

その際、刻々と変わる状況に合わせてホームページを更新する必要があるため、どの情報が更新されたのか分かるように更新時間を明記されたい。

また、ラインアプリやノートを活用した情報発信されたい。

(3) 実情に合った避難所の確保・整備・訓練

ア 地域で指定する身近な「地域避難所（仮称）」の確保を指導されたい。そのため協議、検討を各地域で実施されたい。

イ 女性や子ども及び要配慮者が安心して過ごせるよう、指定避難所の災害時要援護者・女性専用のスペース確保、段差の解消、洋式トイレ・マンホールトイレなどの環境整備をされたい。

ウ 引き続き飲食以外の備蓄品の充実と、指定避難所への分散備蓄を推進されたい。

エ 災害時要援護者が福祉避難所に避難するまでの流れを明らかにし、福祉避難所が災害時において確実に機能するよう検討・整備されたい。

また、福祉避難所の機能・役割を市民に周知されたい。

オ 災害時のペットの同行避難や避難所での注意事項について、市民に周知されたい。【新】

(4) 防災計画の実効性の推進

「新城市地域防災計画」及び「新城市業務継続計画」に基づき、実効性のある各種実行計画及び実行マニュアルの整備を進めるとともに、訓練を計画的に実施されたい。

(5) 防災予防対策の強化

ア 孤立可能性地区の安全を確保するため、引き続きヘリポートの整備を進めるとともに、ヘリの降下可能場所を整理し、防災マップにも示されたい。

イ 地震発生時における木造住宅の倒壊等による被害の軽減を図るため、令和3年度から開始された補助金の代理受領制度を周知し、活用してもらい、「新城市木造住宅耐震化促進事業」を一層促進されたい。

ウ 災害時にドローンを活用して薬品や食品等の運搬及び上空からの調査ができるよう、市民団体や民間業者と協力し、準備を進められたい。

また、東三河ドローン・リバー構想推進協議会においては、災害初動体制の明確化等、有事におけるドローンの活用を研究・検討されたい。

施策 ⑥ 消防体制を充実します

(1) 消防団機能の充実強化

ア 消防団の処遇改善、備品の整備（トランシーバー等の伝達備品、劣化損傷ホース等備品、防火衣等）を図られたい。

かつ、消防団員確保のため男女問わず本市独自の入団促進に努められたい。そのため女性に配慮した設備及び装備の導入を進められたい。

イ 新城市消防団総合計画に基づき、様々な機能別消防団員制度を早急に検討し、団員確保に努められたい。

また、総合計画で示された各種取組を計画的に順次進められたい。

施策 ⑦ 防犯活動・交通安全・消費者安全対策を進めます

(1) 地域ぐるみの安全対策

防犯カメラの導入に当たっては、更なる設置場所の検討及び地区、防犯団体、民間事業所との連携を進め、設置拡大を推進されたい。

IV 「ひと」「ちいき」「まち」の姿、目標、施策を達成するための行政運営の目標

政策目標 1 将来に責任を持つ行財政運営をします

施策 ① 将来を見据えた健全で持続可能な財政運営を行います

(1) 財政健全化の実行推進

新城市財政健全化推進プランに基づく取組を推進されたい。

歳出の見直しはもちろん、歳入確保のための施策を積極的に推進されたい。

施策 ② 公共施設の適正配置と効率的な管理を進めます

(1) 公共施設の適正化と管理【新】

ア 市民への周知に努めつつ、新城市公共施設個別施設計画に沿って滞りなく遂行されたい。

イ 5G及び各種センサーを活用したインフラ常時監視と公共施設の維持管理システムを検討されたい。

(2) 賃貸借契約の見直し

引き続き持続可能な財政運営に向けて、101年契約や長期契約等の整理、見直しを図られたい。

施策 ④ 民間活力、市民の知恵、新しい技術などを積極的に導入します

(1) 業務の効率化 **【新】**

行政事務における積極的なRPA・AIの導入をされたい。

政策目標 2 挑戦できる組織にします

施策 ① 市民ニーズに即応できる組織づくりを行います

(1) 議会事務局職員数の見直し

議会基本条例に定める市民自治社会の実現のため、議会改革の推進及び議会機能の強化に必要な議会事務局職員の増員を図られたい。

(2) 職員力の発揮

平成29年と30年に行った、民間に委託すべき事業と職員力により推進すべき事業についての調査を基に、職員の力を有効に発揮でき、かつ、人件費を抑えられる行政運営を推進されたい。

(3) 監査の強化 **【新】**

専門知識を持つ外部監査制度の導入をされたい。

政策目標 4 情報技術でひと・ちいき・まちをつなげます

施策 ② 対象に応じた情報発信・情報共有に努めます

(1) 広報の強化

コロナの影響で滞っていた広報戦略を策定し、市内のみならず市民との連携も視野に入れ、市内外の多様なニーズに応えられるよう攻めの広報を実践されたい。

また、1年に一度は全課データの見直しをし、古いものは更新されたい。

(2) デジタル広報の推進 **【新】**

公共エリアにおけるWi-Fiアクセスポイントの拡大を進めるとともに、デジタルツールを活用したデジタル広報を導入されたい。

(3) 各種申請手続きのデジタル化と窓口・会計課でのキャッシュレス化を導入されたい。 **【新】**

(4) マイナンバーを活用した提案型行政サービスの導入をされたい。 **【新】**

＜厚生文教委員会＞

I 個性輝く多様な「ひと」が活躍しています

政策目標 1 子育ての安全安心を守ります

施策 ① 子どもを産み育てる環境を整えます

- (1) 子どもの給食の安全確保
 - ア 小中学生の給食費無料化を図りたい。
 - イ 各学校における給食室の老朽部分の改修、老朽設備の更新などを行い、衛生管理とともに労働環境の向上に努められたい。
 - ウ 市内産の食材を確保できる体制を整え、市産市食の拡大を図られたい。
- (2) 通院医療費無料化の拡大
通院医療費無料化における対象年齢を18歳まで拡大することを検討されたい。
- (3) 母子保健事業の推進
不妊治療への助成額の増額及び不妊治療者相談事業の更なる拡充と周知を図られたい。
- (4) 放課後子どもプランの推進（子ども・子育て支援事業計画）
子どもたちの安全な居場所づくりとして家庭、地域、学校が連携し、地域に密着した新城市独自の放課後子ども対策の継続的支援を実施されたい。
- (5) 子育て支援の充実（新城版こども園制度）
 - ア 障がいのある子どもの放課後、長期休み時の居場所の確保を図られたい。
 - イ 重症心身障がい児の在宅支援として、医療的ケアを提供できる通所の場所を確保されたい。
 - ウ 病児・病後児の子どもへの保育支援を図られたい。
 - エ こども園の保育士の増員を図られたい。
- (6) こども園・小中（高）の連携及び一貫教育の推進
こども園及び小学校、中学校の連携強化、一貫教育の実施に向けて、市民の目に見えるよう、具体的な取り組みを進められたい。
- (7) 子どもやひとり親家庭への学習支援、生活支援の充実
経済的な理由により、高等教育機関への就学が困難と認められる学生及び生徒に対して、給付型・奨学金制度などの教育費の負担軽減策を図られたい。
- (8) 子育て世代の住みやすい環境の整備
社会情勢等による子育て世帯の収入減少に対して、「奨学金返済免除・支援」「住宅・転居支援」「女性職業訓練」「就職・移住支援」等、また若い夫婦の新築住宅に係る固定資産税助成事業を一層図られたい。

施策 ③ 病院・診療所の体制を整えます

- (1) 医師等確保事業

- ア 救急に対応できる市民病院体制の早期確立を図られたい。
 - イ 産婦人科医師確保による出産可能体制の実現を図られたい。
 - ウ 小児科・整形外科医師の充実を図り、入院、夜間、緊急等安心して診察が受けられる体制を実現されたい。
 - エ 医師の確保を一層図られたい。
 - オ 看護師等、パラメディカルスタッフの充実を図られたい。
 - カ 医学生奨学金制度を創設されたい。
- (2) 市民病院の経営健全化及び施設改良
- ア 遊休病棟の活用を図られたい。
 - イ 予防医療充実のため、健診センターの拡大を図られたい。

政策目標 2 能力と個性を活かす力を育てます

施策 ① 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます

- (1) 小中学校の教育の充実
- ア 小中学校において少人数学級（35人以下）の推進を図り、すべての子どもたちに行きとどいた教育を行われたい。
 - イ 各学校において、目的に応じた弾力的な学習指導要領（単位時間や授業時数等）の柔軟な運用により、総合的な学習時間の充実を図られたい。

施策 ② 安心で居心地の良い学校環境づくりを進めます

- (1) 学校施設・備品等の整備の充実
- ア 安全確保のため、老朽化した施設設備の改修及び更新の計画を立て、早急に推進されたい。
 - イ 子供たちの安心・安全のため、防犯対策、交通安全、鳥獣害の面からも、外構フェンス、ネット等の設置を検討されたい。
 - ウ 体育館によっては、降雨音や内部の反響により集会時の音声が聞こえない状態があるため、至急調査し、対応策を図られたい。
 - エ 老朽化のため、プールサイド等が荒れて危険な個所が見受けられるので、総点検し、改修されたい。
 - オ 各小中学校に防犯カメラの設置を図られたい。
- (2) 特別支援教育の充実
- ア 学習支援員（ハートフルスタッフ）の研修強化と支援時間数の増を図られたい。
 - イ 担当課間の連携を密にして、こども園、小学校、中学校、特に高校への移行期における支援体制の整備充実を図られたい。
 - ウ 発達に支援が必要な子どもの教育環境の整備及び教員への発達障害についての研修の充実を図られたい。
- (3) 小中学校の防災対策の強化
- ガラスの飛散防止対策未着手の学校においては、工事年次計画を立て、順次改修されたい。

政策目標 3 学びの場、憩いの場、自己投資の機会をつくります

施策 ② 市民スポーツ活動を応援します

(1) スポーツ施設及び関連施設の充実

- ア 市民総合体育館の必要性や、その他スポーツ施設の在り方など、全体的な公共施設の管理計画に合わせた市民スポーツ施設の在り方(数・場所・機能など)について具体的に検討されたい。
- イ 公園施設内などにあるトイレについて、手すりを設けるなど、安全性と利便性の向上を図られたい。

施策 ③ 共育(ともいく)を推進します

(1) 地域の担い手の育成・共育の実践

持続可能な市をめざし、地域の担い手を育成する教育を強化されたい。具体的に、地域で活動する共育の実践団体や活動に対し、支援を検討されたい。

(2) 電子書籍の導入

市図書館の電子書籍導入の検討を図られたい。

政策目標 4 認め合い、支え合う人をつなげます

施策 ⑤ 障がい者の自立を支援します

(1) 精神障がい者の福祉施策充実

- ア 入院中の精神障がい者について、本人及び家族への支援を充実させ、地域生活への移行を図られたい。
- イ 増加傾向にある精神障がい者への早期対応を図られたい。
- ウ 地域で自立した生活を目指すグループホームへの助成・支援をされたい。
- エ 精神保健福祉士を積極的に採用し、社会復帰の支援を強化されたい。【新】

施策 ⑥ 生涯を通じた健康づくりを応援します

(1) 市民の健康増進と国保医療費の抑制

- ア 生活習慣病予備群に対する保健事業の強化のため、積極的に出前講座を開催されたい。
- イ 保健師の増員を図られたい。
- ウ 保健推進員制度の導入を検討されたい。

(2) へき地診療所における中核病院による遠隔診療・リハビリ指導等の実現【新】

ローカル5Gを活用した遠隔診療・リハビリ指導の実証実験結果を踏まえ、奥三河メディカルバレープロジェクトのスキームを活かし、実装に向けて検討、研究を進められたい。

施策 ⑦ 地域福祉を進めます

(1) 地域支援事業（介護保険）

- ア ミニデイサービス事業の実施地区を拡大し、孤立する高齢者対策を図られたい。
- イ 認知症の方及びご家族の方への支援として、徘徊高齢者SOSネットワークが機能するように取り組まれない。また、認知症賠償保険事業の実施について検討されたい。【新】
- ウ 健康増進・介護予防等の目的で、健康体操等を行う個人や福祉団体に対する活動支援と育成を図られたい。
- エ 地域包括支援センター、高齢者ふれあい相談センターの相談窓口の充実を図られたい。（各鳳来・作手総合支所にも相談窓口の充実）

(2) 介護職の労働環境整備

介護職の人材育成体制や職場環境の改善がされるよう支援の充実を図られたい。

(3) 新城市福祉円卓会議の答申を受けて新城市地域福祉条例検討会議を設け市が定める福祉条例（案）について、実行性のあるものとされたい。【新】

(4) 社会福祉協議会について

- ア 現場事業に関わり過ぎず、地域福祉活動計画の推進母体として、総合的、計画的に地域の民間福祉活動を先導する拠点としての役割強化を図られたい。
- イ 鳳来地区に窓口サービスの開設を早期に図られたい。

(5) 地域包括支援体制の強化

- ア 拠点施設の整備と医師会等とのさらなる連携強化されたい。
- イ 地域包括ケアシステム（支援体制）について、トップ自ら率先して構築に努め、市民周知を徹底されたい。

(6) 高齢者の見守り

- ア スマートフォン、タブレット型端末、テレビ電話などの情報端末を活用し、高齢者の見守り体制の充実を図られたい。
- イ 企業（荷物、飲料の配達業等）との連携による見守りを検討し、見守り体制の充実を図られたい。

(7) 地域生活支援事業（障がい福祉）

- ア 在宅での自立した生活を支えるヘルパーの不足を補完する体制づくりを図られたい。
- イ 通所・通学など、移動支援のあり方を検討し、充実を図られたい。

(8) 生活保護制度の公正運用

増加しつつある生活保護受給者に適正かつ厳正に対応できる体制づくりを図られたい。

(9) 災害時要援護者支援

- ア 発達障がい児のため、専用避難施設（福祉避難所）の設置を図り、協力体制の強化を図られたい。
- イ 避難時の要援助者移送および避難所から、各自宅、指定外避難所等への物資輸送のための特別車両を認定されたい。
- ウ 避難所で生活するためのスペース確保の準備を進められたい。

- エ 避難所での専用トイレの準備を図られたい。
- オ 関係者と連携した要援護者の個別支援計画を作成されたい。

Ⅱ 快適で潤いある「ちいき」に暮らしています

政策目標 2 地域資源を最大活用します

施策 ① 歴史・文化財の継承を進めます

- (1) 文化財・文化施設の保存・活用
 - ア 指定・未指定の区別なく文化財の価値を的確に把握し、その周辺環境も含めて総合的に保存・整備・活用を強化されたい。
 - イ 桜淵・釜屋建て民家の利活用を図られたい。
- (2) 伝統芸能の継承
 - 伝統芸能継承のための支援を充実されたい。

政策目標 3 人生100年の安全安心をつくります

施策 ② 地域医療の連携を進めます

- (1) 高等教育機関への応援体制
 - 穂の香看護専門学校については、地域医療と地域活力への貢献を鑑み、市・地元との連携及び応援体制を強化されたい。

Ⅲ 活力にあふれた「まち」になっています

政策目標 2 緑でゆとりを生み出します

施策 ② 地球環境の保全に貢献します

- (1) 産廃施設の定期臭気測定において基準値を超過した過去を踏まえ、監視体制（悪臭・排出水測定等）のさらなる強化の徹底と立入り検査の上で、市は法令に則り、発生する悪臭が規制基準に適合しない場合は、速やかに勧告・命令を行うようにし、地域住民の不安の払拭に努められたい。
- (2) 産業廃棄物処理施設における臭気センサーを活用した常時臭気監視システムを導入されたい。【新】
- (3) エネルギー施策の推進
 - ア エネルギー公社設立の実現可能性を検証し、早期の判断をされたい。
 - イ 太陽光発電設置要綱の早期改正を図り、監視体制を強化されたい。
- (4) ペット条例の制定

野良猫、野良犬等の実態調査と合わせて、ペット飼育の状況やブリーダーの実態を調べ、トラブルを未然に防ぐように、ペット条例の制定を検討されたい。

(5) 野良猫の適切な管理

野良猫を適切に管理するために、地域住民と動物愛護ボランティア等の協力を得て、地域猫活動（不妊手術、去勢手術、トイレ設置等）を支援されたい。

施策 ③ 持続可能な自立循環のまちをつくります

(1) ごみ減量対策強化

市民、事業所に対して、紙ごみ、プラごみの資源化数値目標を明らかにし、焼却ごみ・埋立てごみの減量化を推進されたい。

(2) ごみの散乱防止対策

各地区の可燃ごみ収集所において、動物の食い散らかし等による散乱防止のための対策（ネットやゲージなど）と、収集箇所の整備に係る補助金の拡充を図られたい。

IV 「ひと」「ちいき」「まち」の姿、目標、施策を達成するための行政運営の方針

政策目標 1 将来に責任を持つ行財政運営をします

施策 ② 公共施設の適正配置と効率的な管理を進めます

(1) しんしろ斎苑の有効利用

しんしろ斎苑の有効利活用とサービス向上及び施設環境整備を図られたい。

(2) 閉園・閉校後の施設活用

ア 閉園、閉校後の施設・土地の利活用については、こども園・学校担当課だけでなく、全庁的な担当部署・窓口を設置し、アンケートを実施するなどして、地元の意向を尊重しながら協議を進め、早急に方針を示すとともに実行に移されたい。

イ 上記施設の利活用が決まるまでの間、草刈り等、環境保全に努められたい。

ウ 特に教育関係の空き校舎など教育委員会所管施設について、早期に行政財産から普通財産に移し、活用を図られたい。

(3) 小中学校のプールの効率的な利用

小中学校のプールについては、学校間での共同利用や民間施設の活用などを検討されたい。

＜経済建設委員会＞

Ⅱ 快適で潤いある「ちいき」に暮らしています

政策目標 1 居心地の良い暮らしをつくります

施策 ① 道路網の整備を進めます

- (1) 県道豊橋乗本線の早期改良に向け県と連携し、事業を推進されたい。
- (2) 東名高速スマートインター設置に向け、豊橋市との連携を強め、着実な事業推進に努められたい。また、インター設置後の周辺地域の活性化策も熟慮されたい。
- (3) 通学路交通安全プログラムに沿った事業実施をさらに図られたい。特に、カラー塗装未実施箇所の施工や中学生の通学路（指定コース）の整備を推進されたい。
- (4) 歩道での自転車走行の可否明示により歩行者の安全確保を図るための車歩道設置を推進されたい。危険箇所の洗い出しも併せて実施されたい。
- (5) 道路側溝蓋の改修整備（防音策含む）、無敷設側溝蓋の早期設置を図られたい。特に原材料支給による対応を積極的に推進されたい。
- (6) 誰にとっても安全安心な歩道を確保するため、点字ブロック等の早期設置、商店街のバリアフリー化、交差点における安全対策の実施に努められたい。
- (7) 指定地以外の狭あい道路拡張整備（緊急車両の進入路確保）を継続して推進されたい。
- (8) 道路沿線の雑草、支障木、法面崩落等の実地調査と解消を図るための対応と地元要望のとりまとめに注力し、道路沿線の美化活動を推進されたい。

施策 ② 安全できれいな水循環を守ります

- (1) 災害時における上水の補完機能を整備し、災害に強い浄水設備整備を図られたい。

政策目標 2 地域資源を最大活用します

施策 ② 歴史・文化・自然の紹介・活用を進めます

- (1) 市内観光地での公衆トイレ・駐車場の早期整備・充実を図り、利便性の高い観光地とすることで観光客の増員を推進されたい。公衆トイレについては洋式化・手すりの設置に加え、使いやすく・華美でない維持管理費も考えた設計・施工を図られたい。

政策目標 3 人生100年の安全安心をつくります

施策 ⑤ 防災対策を進めます

- (1) 災害予防対策の強化

- ア 市内各地域（市街地、郊外、山間地）において災害発生が予想される危険箇所の点検と計画的改良を図られたい。特に、災害時の孤立を予防するために主要道路網の複路線化を進められたい。
- イ ゲリラ豪雨による想定以上の流量増に伴う河川氾濫被害を予防するため、河川や橋梁の改修の基準等を見直し、計画的に浚渫や河道改修を進められたい。
- ウ 災害時の停電防止及び早期復旧を図るため、電線沿いの樹木を計画的に伐採可能とする制度を検討・実施されたい。
- エ 災害時の水の安定供給のため、水道施設の耐震化と予備電源の確保に努められたい。また、災害時に利用可能な井戸水の再点検を実施されたい。

Ⅲ 活力にあふれた「まち」になっています

政策目標 1 経済と生活を支える都市基盤を整えます

施策 ① 活気がある市街地をつくります

- (1) 市街化調整区域をはじめ都市計画区域区分（線引き）を時代に即して見直し、住宅用地供給の促進を図られたい。
- (2) 市内企業を市内外に積極的にアピールし、定住促進とともに流入人口増に努められたい。
- (3) 鳳来総合支所周辺総合開発計画に則り、総合支所移転後の跡地を有効活用し、食料品をはじめとした住民生活を支える商業施設を誘致する等、利便性の高い鳳来地区の中心核を形成されたい。【新】

政策目標 3 農林業を成長産業にします

施策 ① 持続可能な農業構造を実現します

- (1) 国が進める中山間地農業ルネッサンス事業に応呼し、中山間地域の特性を活かした農業振興策の展開として以下を図られたい。
 - ア 6次産業化・地域ブランド化・農畜産物の市産市消の推進
 - イ 集落営農の組織化・法人化の推進
 - ウ 農村交流や農村への移住・定住へ向けた農泊推進のための古民家有効活用
 - エ アグロフォレストリーの考え方を取り入れた林業・商業との多様な連携
 - オ 本市独自の銃器・ワナ狩猟免許取得助成制度の充実による捕獲従事者の増員、安全対策の充実、「鳥獣被害対策実施隊」の活動支援の推進
 - カ 新規電気牧柵設置の推進と既設電気牧柵施設メンテナンス（電牧線交換・バッテリー交換）の充実
 - キ 豚熱撲滅に向けて、国・県と連携した対策・情報共有の推進
 - ク 耕作放棄地の把握と解消、耕作希望者へのマッチング事業の推進
 - ケ 新規就農、非農家者就農（チャレンジ就農）、U・Iターン就農者への本市独自

の助成制度（就農支援、農機具購入支援、融資利息の利子補給）を充実させ、就農者定住支援体制の構築と農業塾のさらなる充実

コ 市産市食（食育）の推進と飲食店での地域農作物利用の強化

サ 市産農作物の学校給食への安定供給（時期、種類、量、等の明確化）【新】

シ 農業用施設（ため池、水路、農道）等のさらなる改修推進

ス 水稲被害に対する補填制度の充実（認定農家以外に対するもの）【新】

セ 担い手不足解消のためのスマート農業の導入支援【新】

施策 ② 森林・林業基盤の整備、保全を進めます

（１）市域における森林資源の安定供給を確立すると共に新たな需要創出を促す施策として以下を図らねたい。

ア 地元産材の市産市消

イ 里山育成を通して山林の多面的機能の拡充

ウ 森林経営管理制度に基づく森林整備のため、計画的な地籍調査を推進すると共に、「あいち森と緑づくり事業」「森林環境譲与税」を効果的に利用した整備策を早急に図らねたい。

A 所有権調査

B 不在地主対応

C 境界確定

D 作業道整備

E 林道整備

F 専任職員配置等

G 間伐

エ 林業作業員の育成を図り、防護服着用や安全配慮がなされた職場環境の確保

オ 木質バイオマス発電の活用に関する研究・試行【新】

カ 林業におけるIT技術の活用推進【新】

政策目標 4 地域産業の振興で賑わいを創出します

施策 ① 企業誘致を進め、雇用を確保します

（１）新東名・三遠南信自動車道の利点を生かした現代の「山の湊しんしろ」の確立、地域産業のイノベーションを図り、新東名を活用した企業誘致の促進と雇用創出を推進されたい。

（２）新城インターチェンジ周辺整備事業用地（養鶏場跡地等）活用の早急な検討と、開発促進を図らねたい。【新】

ア 利用目的の明確化

イ 適正な事務手続き、開発基準に沿った活用推進

施策 ② がんばる中小企業を応援します

（１）新東名によるストロー効果を抑え、地域経済の発展を図らねたい。

ア 地域内経済循環実態調査

イ 商工会と連携した市独自の取り組みによる中心市街地をはじめとした商店街の再活性化

施策 ③ 地域資源を活かした観光戦略を進めます

- (1) 奥三河観光協議会を軸とした奥三河DMOの現地コンテンツの拡充を図ると共に、本市の歴史・文化・環境を活かした地域ブランドの創出や着地型観光プランの充実を図られたい。